

消防試験研究センターだより vol.388

Voice...11

2021



top

21世紀の東京オリンピックと危険物

こだま

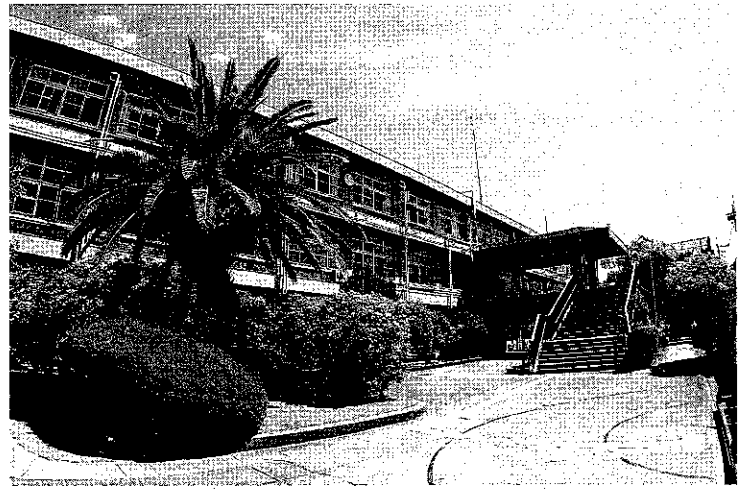
大阪府立藤井寺工科高等学校
「本校の進路実現に向けた取り組み」

支部の広場

沖縄県支部からお届け



「消太」



中上 俊之 (なかがみ としゆき)
大阪府立藤井寺工科高等学校
全日制電気系教諭

本校の進路実現に向けた取り組み

1 学校概要

本校は昭和38年4月大阪府立河南工業高等学校として開校。昭和40年4月定時制の課程が設置され昭和42年4月大阪府立藤井寺工業高等学校に校名変更して大阪府再編整備計画により平成17年4月大阪府立藤井寺工科高等学校に再編される。

特に平成26年度からは、府立工科高等学校の中でも、実践的技能養成重点型校に指定され、「広い教養と、豊かな情操をそなえ、国際社会で活躍できる実践的技術者を育成する。」を教育方針に、資格取得指導をはじめとする実践的技術の習得を特色とした教育活動を行っている。

2 本校の特色

本校は機械、電気、メカトロニクス系の3系がある。機械系は機械技術専科・機械設計専科、電気系は電気技術専科・電子情報通信専科、メカトロニクス系はロボット工学専科・制御システム専科が設置されている。

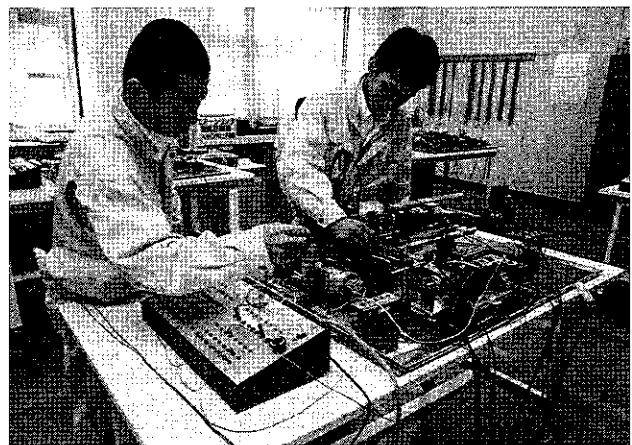
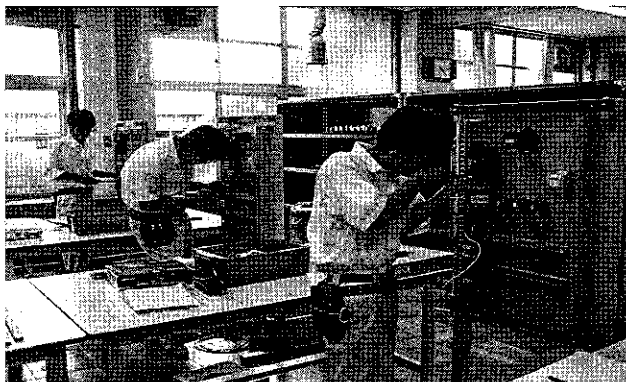
機械系では、旋盤やフライス盤といった汎用機からNC工作機まで学ぶ。具体的には3軸マシニングセンタを使った精密な加工やレーザー加工機、放電加工機そしてアーク溶接・ガス溶接など、様々な加工の技術を学ぶ。電気系では、電気主任技術者の認定校制度の認定を受けている。そのため、2年生では第二種電気工事士を全員受験している。4月下旬から毎日放課後の補習を行って、毎年、高い合格

率を維持している。メカトロニクス系では、最先端のロボットなどの教材を通して、ものづくりの基本技術と制御技術を学習する。複合化された技術を駆使し、現場で役立つ技術者を育成している。このように本校ではものづくりに関わる学習を通して実学教育を行い、社会に有用とされる職業人の育成を実践している。

これらの教育活動の成果は本校の進路実績にあらわれている。平成30年は就職希望者数200人、求人企業数554社、求人数828人、求人倍率4.1倍。また令和元年には就職希望者数194人、求人企業数577社、求人数855人、求人倍率4.4倍であり、社会で必要とされる資格取得が地域企業に求められている。また、本校の取り組みとして就業体験(インターンシップ)や工場見学を行い、生徒の進路意識や職業観・就労感の育成を行っていることが就職内定率100%に結びついている。

3 本校の資格取得の取り組み

本校の生徒は就職を進路として選択するものが多いこともあり資格取得に対する意識は高い。機械系では技能検定3級(旋盤技能検定/機械検査)、ガス溶接技能講習終了証、機械製図検定・基礎製図検定。メカトロニクス系では技能検定3級(シーケンス作業/配電盤-制御盤組み立て作業)、





| 主催 | 資格・検定等 | 級・種等 | H30年度 | R1年度 | R2年度 | |
|----------------------|----------|-------------|-------|------|------|---------|
| 中央職業能力開発協会 | 技能士 | 普通旋盤作業 | 2級 | | | |
| | | フライス盤作業 | 3級 | | 5 | |
| | | マシニングセンタ作業 | 3級 | | | |
| | | 機械検査作業 | 2級 | | | |
| | | シーケンス制御作業 | 3級 | 2 | 5 | 3 |
| | | シーケンス制御作業 | 2級 | | | |
| | | 機械組立仕上げ作業 | 3級 | 23 | 24 | 1(実技中止) |
| | | 配電盤・制御盤組立作業 | 3級 | 5 | 2 | 3 |
| 電気工事士 | | 第一種 | 12 | 19 | 14 | |
| | | 第二種 | 78 | 81 | 31 | |
| 工事担任者 | | DD第三種 | 17 | 14 | 8 | |
| | | A I 第三種 | 3 | 3 | | |
| 陸上特殊無線技士 | | 第三級 | | 22 | 23 | |
| 全国工業高等学校長協会 | 機械製図検定 | | 14 | 20 | 36 | |
| | 計算技術検定 | 1級 | | | | |
| | | 2級 | | | 2 | 1 |
| | | 3級 | 30 | 3 | 17 | |
| | | 4級 | 209 | 162 | 110 | |
| | 情報技術検定 | 1級 | | | | |
| | | 2級 | | 2 | 1 | |
| | | 3級 | 1 | 48 | 68 | |
| | 初級CAD検定 | 機械系 | | 21 | 27 | |
| | 基礎製図検定 | | 74 | 36 | 19 | |
| | ガス溶接技能講習 | | 99 | 75 | 65 | |
| フォークリフトの運転の業務に係る特別教育 | 1トン未満 | 34 | 67 | 14 | | |
| 品質管理検定 | QC検定 | 4級 | | 12 | | |

受け止め、全日制課程では日本分析化学専門学校と連携し講師を派遣していただき講習の充実に努めた。令和2年度では新型コロナウイルス感性症対策があり対面での講習が実施できなくWEBで動画配信での講習に切り替えている。



第二種電気工事士、工事担任者DD・A I 第3種、危険物取扱者(乙4・丙種)、ガス溶接技能講習、基礎製図検定、小型フォークリフト。電気系では第1種・第2種電気工事士、電気主任技術者、工事担任者、陸上特殊無線技士、消防設備士乙種4類、7類などの資格取得に挑戦している。

4 本校における危険物取扱者試験への取り組み

本校においては平成24年から特定試験が行われており、毎年12月中旬、本校内で危険物取扱者試験を実施している。令和元年度は全日制、定時制合わせて受験者76名合格者17名合格率22.4%また令和2年度には受験者67名、合格者22名、合格率32.8%である。本試験は全ての系の生徒にも就職に役立つ資格であるため受験希望数が多い。平成28年は受験者数が288名に達していた。しかし合格率は乙種4類で十数パーセント程度と低迷していた。この結果を重く

| 主催 | 資格・検定等 | 級・種等 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|------------|--------|-------|-------|------|------|
| 消防試験研究センター | 危険物取扱者 | 甲種 | | | |
| | | 乙種第1類 | 4 | | |
| | | 乙種第2類 | 1 | 1 | 4 |
| | | 乙種第3類 | | | 2 |
| | | 乙種第4類 | 9 | 7 | 16 |
| | | 乙種第5類 | 2 | | |
| | | 乙種第6類 | 2 | | |
| | 消防設備士 | 丙種 | 14 | 5 | |
| | | 乙種第4類 | | 2 | |
| | | 乙種第7類 | 6 | | 5 |

*数値は全日制的合格者のみ

5 最後に

本校は、平成26年「高い付加価値を生み出す技術・技能力を持つ人材」の育成に重点を置く実践的技能養成重点型に指定され、卒業後の自己実現に向けて生徒は社会に直結する様々な高度な職業資格取得をめざしている。

危険物取扱者試験に関しましても、社会に直結する資格として本校では位置づけ、放課後の講習会を開催するが現在の風潮なのか、他のことを優先してしまう生徒が多い。またWEBで提出課題を作成しても提出しない生徒も少なくない。当然合格するのは講習会の出席率や課題の提出率の高い生徒である。どのような環境においても最後まで努力を継続することができる生徒が資格試験の合格を手にする。これらの経験で「やればできる」の自己肯定感を育み、自分の進路を開拓していく上での大きな自信となしてほしいと思う。